

大阪市立清水小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。</p> <p>●学校保護者アンケートにおける「友だちとお互いの違いを認めながら仲良くできている」について、肯定的に回答する保護者の割合を90%以上にする。</p> <p>●小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1－1 いじめへの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめや差別について全校児童で考える場の設定をする。 ・定期的に人権教育に関わる研修を行い、児童理解の深化充実を図る。 	A B6 C D
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回以上人権・平和・仲間づくりについて考える全校集会を行う。 ・月1回以上の児童理解の場やスマスク「心の天気」の活用を行う。 ・学期に1回のいじめアンケートと学びのポータル相談機能を活用することで、児童の実態把握に努める。 	
<p>取組内容②【施策2－1 道徳教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活目標や強調週間を設け、子どもたちの規範意識を高める。 	A B5 C1 D
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「気持ちのよいあいさつをする」「時刻を守る」「自分で考えて行動できる」を軸として児童へ毎日言葉をかけ、意識と行動が変容するようにする。 ・「みんなのやくそく」をふり返り、安全に学校生活を送る意識を高める。 ・「あいさつ週間」に年間1回以上取り組む。 ・交換授業などによる道徳の授業も充実させながら、全教育活動を通して「きまりやル 	

<p>ール」を守る意識を高める。</p>	
<p>取組内容③【施策２－４ インクルーシブ教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「共に学び、共に育ち、共に生きる」インクルーシブ教育を推進し、児童の自立を支援するシステム・環境整備を進める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月１回の部会や個別の課題について検討する場を設定し、教職員間の共通理解を図る。 ・「学校と親の会」を学期に１回開催し、学校と保護者の連携を図る。 ・近隣の特別支援学校との交流を通して、障がいについての知識、理解を深める。 	<p>A B6 C D</p>
<p>取組内容④【施策２－５ 多文化共生教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な体験活動を通して、児童自らが自主的・自発的に国際理解、多文化共生の学びに取り組む機会を充実させる。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク等、体験的な活動を計画し、実施する。 ・芸術文化の観点でふれ合う（観劇鑑賞を含めた）機会を年１回以上設ける。 ・総合や学級活動を通し、児童が主体的に学ぶ国際理解・多文化共生教育の場を設定する。（日本の伝統文化、SDGs等も含む） ・民族講師やC-NET等との交流を全学年で年１回以上実施する。 	<p>A1 B5 C D</p>

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

全校集会は「いじめいのちについて考える日」、「平和集会」と設け、縦割り班で話し合う活動では、6年生中心に考えを深めることができています。

「心の天気」やいじめアンケートを活用しながらいじめやトラブルに関しての実態把握やいじめの兆候に対しての早期対応を全教職員が行うことができています。

取組内容②

学校あんしん・あんぜんルールを掲示し、規範意識は高まってきていると感じる。「時刻を守る」ことも、予鈴を入れたことで児童の中で意識化されてきており、教職員の声掛けも徹底してきている。「みんなのやくそく」に示している持ち物や服装については決まりを守るよう引き続き声掛けを続けていく必要がある。

道徳の交換授業も全学年で計画的に実施されている。

取組内容③

児童たちが特別支援に在籍する児童に関しての関わり方や、配慮することなど積極的に考え行動できるようになってきている。教職員の支援を要する児童への理解も、月1回の特別支援部会で積極的に共有できている。また、学校と親の会も学期に1度開催されており、保護者の意見や悩みも共有することができている。

取組内容④

多文化週間の取り組みや集会活動などの取り組みを進めることで、子どもたちの中に多文化共生の意識が根付いてきている。また、フィールドワークや民族講師との交流等を実施し、体験的な活動もすることができている。

後期への課題

- ・いじめやトラブルに関しての対応、及び相談機能の運用について書面化する。
- ・全教育活動を通して「きまりやルール」を守る意識を高める活動は行われているが、どの程度できているかはアンケートなどを通して数値化した方が、今後の取り組みに繋げやすい。
- ・「みんなのやくそく」について、何をどこまで守らせるのか、どのように守らせるのかなどについて、学校全体で一貫性を持った指導方針を持つ必要がある。
- ・「ともに学び、ともに育つ」教育を進めていくにあたり、年度初めに支援が必要な児童の特性について、学級児童へ保護者の同意を得ながら説明が必要。

大阪市立清水小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を38%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <p>●小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策4－3 英語教育の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校で外国語教育を推進する。 	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝のモジュール10分×週2回を設定し、全学年で外国語活動を実施する。 ・日常的に外国語に触れられるように生活環境を整備し、児童が自発的に外国語を活用するようにする。（あいさつ等を掲示する等） 	B7 C D
<p>取組内容②【施策4－2 「主体的・対話的で深い学び」の推進（各学校の実態に応じた個別支援の充実）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究主題「子どもたちが主体的に楽しく学べる授業づくり」の実践や公開授業を通して、授業力の向上を図る。 ・「主体的・対話的で深い学び」へとつながる授業実践に努める。 	A2 B5 C
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が1回以上の研究授業等を行い、年間12回以上実施する。 ・メンター研修を中心に、外部講師による授業実践を実施する。 ・研究主題に基づいた研修会や討議会を、学期に1回以上実施する。 	D

<p>取組内容③【施策５－１ 体力・運動能力向上のための取り組みの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動する喜びやできる喜びを感じる活動を通して、体力向上への意識を高める。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が日常的に運動を志向するよう環境整備を行うとともに、なわとび、かけあし等の取組時間を設定し、体力作りに努める。 ・トップアスリートの招聘や体力サポート事業を活用し、運動への意欲付けを行う。 ・新体力テスト結果を SKIP へ入力し、経年で分析できるようにする。それによって課題を明確にし、課題を意識した運動を体育の学習に取り入れるようにする。 	<p>A B 7 C D</p>
<p>取組内容④【施策５－２ 健康教育・食育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自ら生活習慣を振り返る取組を通じて、健康を保持する意識を高める。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健だより等を活用し、児童自らが生活習慣を見直すようにする。 ・学校保健委員会を年１回実施するとともに、保健だよりや委員会活動を通じて保護者、地域、児童への啓発を行う。 ・給食週間の取組を年１回以上実施する。 	<p>A 2 B 5 C D</p>

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>取組内容①</p> <p>朝のモジュール10分×週2回を設定し、開始の合図を放送で伝えたり、児童の実態に合わせた動画を作成したりするなど、全学年で外国語活動を実施することができている。</p> <p>生活環境の整備として、学級で英語に関する掲示をしたり、階段等に英語を掲示したりしている。</p> <p>取組内容②</p> <p>一人一授業は、対象教員のうち現時点で半数に近い教員が実施している。その他、各学年の研究授業・討議会も計画通り実施している。メンター研修では、メンティーの授業を参観しての討議会や、外部講師による講義形式の研修をしている。外部講師による授業実践はまだ行っていない。</p> <p>取組内容③</p> <p>南運動場の開放と運動できる場の設定により、楽しんで体を動かす児童の姿が見られる。</p> <p>4年生の走り方教室は、1時間と短い時間だったが速く走りたい気持ちを高め、運動への意欲付けの機会となった。</p> <p>新体力テストの結果はSKIPに入力している学級が多いが、分析をしてその結果を体育の学習に取り入れるには至っていない。</p> <p>取組内容④</p> <p>保健だよりの発行で、保護者や児童への啓発が毎月おこなわれている。その他にも、保健室前の掲示や放送での呼びかけなど、生活習慣を見直す機会は多く設けられている。</p> <p>学校保健委員会や給食週間は、今後実施予定。</p>
後期への課題
<ul style="list-style-type: none"> ・研究主題のために活動内容が児童の実態にそぐわない場面もあるように感じる。主体的に取り組むにはまず基礎的な学力が必要。研究主題の検討が必要だと思う。 →学力が低く、授業についていけない子どもも主体的に学ぶことができるようにするための「個別・協働」では、後期に向けては、基礎的な学力をつけるような別の手立てや工夫を考え、教職員間で共通理解を図るような場を設ける。 ・自分に何が足りないのか把握するために、昨年度の新体力テストの結果が分かるようにする。 ・新体力テストの結果について、保護者への返し方や結果の分析方法でより簡単な方法がないか。 ・「新体力テスト結果をSKIPへ入力し」では、学級によって未入力の場合もあるので、再度周知する必要がある。また、数年前の事例で、児童の「握力」が低下している傾向から「握力トレーニング器」を各学年で購入したこともあったように、運動について「苦手なことを」を分析し、それに対して取り組みを進める必要がある。 ・現在実施していない学年を中心に、トップアスリートや体力サポート事業の活用を増やす。 ・睡眠不足により、朝遅刻をしたり、授業中に居眠りをしたりしている児童が多い。特に、高学年において生活リズムが乱れている児童が多いように思える。 ・学年、学級の実態にもよるが、残食の多い少ないに偏りがあることが多い。完食は求めないが、作ってくれている人に感謝の気持ちをもったり、言葉がけや時間配分を工夫したりして、

残食を減らす取り組みをしていく。

大阪市立清水小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を84.7%以上にする。</p> <p>●児童アンケートにおいて「読書が好きである」について、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策6－1 ICTを活用した教育の推進】</p> <p>・ICT等を活用した協働学習や個別学習の充実を図るための授業作りを行う</p> <p>指標</p> <p>・毎朝学習用端末にログインさせ、心の天気の入力をするとともに、授業に活用できるようにする。</p> <p>・学習用端末等を効果的に活用できる単元を発掘し、記録を残して次年度へ引き継ぐ。それにより、活用意欲が高まるようにする。</p> <p>・効果的に活用できる環境整備、指導方法の作成に取り組み、授業実践の充実を図る。</p>	<p>A</p> <p>B 6</p> <p>C 1</p> <p>D</p>
<p>取組内容②【施策7－1 働き方改革の推進】</p> <p>・自己の働き方を調整して、効率よく仕事を進め、児童と向き合う時間を作る。</p> <p>指標</p> <p>・特別支援担当との道徳の交換授業を行う。</p> <p>・学年内交換授業を積極的に行う。</p> <p>・毎月月末近くに超過勤務時間を確認し、自身の勤務時間の調整を行うようにする。</p>	<p>A</p> <p>B 7</p> <p>C</p> <p>D</p>
<p>取組内容③【施策8－2 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組】</p> <p>・図書館開放等、図書ボランティアや読み聞かせボランティアとの連携のもと意欲をもって読書に親しむ環境を整える。</p> <p>指標</p> <p>・読書カード等を活用し、一人あたりの読書量を増やす。（低・中・高別）</p> <p>・魅力ある「学校図書館」を目指し、読書環境整備を行う。</p> <p>・読み聞かせ会、アニメーション等、読書の楽しさを伝える取り組みを進め、読書に親しむ機会を増やすことで、図書館の利用を増やす。</p>	<p>A</p> <p>B 7</p> <p>C</p> <p>D</p>

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

どの学級も、毎日学習用端末にログインすることができるようになり、日中は机の中や手提げ袋に入れておくことで、使いたいときに出しやすく、利用頻度が増えた。「心の天気」を入力したり、様々な教科で「発表ノート」などのツールを活用したりすることができている。

一人一台端末を使用した単元等は、次年度へ引き継ぐことができるよう、その都度記録に残し、1学期末には報告会も実施した。

ICT担当教員や、教育アシスタントにより、丁寧かつ迅速に環境整備に取り組むことで、一人一台端末が利用しやすくなっている。

ICTに関する研修会に参加するなど、自主的に学び、教員のスキルアップもなされている。

取組内容②

全学年で道徳の交換授業を行っている。道徳以外でも交換授業が実施できている学年もある。

自己の働き方を調整し、効率よく仕事を進めることで、勤務時間は全体的に減っている。また、教職員のコミュニケーションがとれているため、子どもたちや保護者の対応がスムーズに進むため、効率よく働くことができている。職員会議後に、勤務時間の確認をする機会を設け、自身の働き方について振り返ることもできている。

取組内容③

学校図書館司書による図書室の環境整備が充実されている。「季節のおすすめの本の紹介」や、読み聞かせ、教科学習に関連する本の収集など、児童の読書や本に対する関心を高める工夫がされている。

保護者による図書ボランティアの朝の読み聞かせは、ここ数年、毎週欠かさず実施されることで、どの学年も児童も楽しみにしており、心が豊かになる時間を過ごすことができている。

教員の「おすすめの本」を紹介するコーナーを設置したことで、影響を受けている児童が多いように感じる。

後期への課題

- インターネット環境が不安定なことや、端末自体の劣化、容量不足などから、スムーズに使用できないことがあり、学習に支障をきたすことがある。
- 「心の天気」や「相談機能」について、児童が入力した情報を点検し、さらに児童の心情把握に努める。
- 一人一台端末を休み時間に使用する児童が増え、読書をする姿を見ることが減った
- 図書室の利用者が固定している。
- 図書室前の掲示物「先生のおすすめの本」を毎月替えるのではなく、増やしていくようにする。
- 学級文庫を充実させ、読書ノートをさらに活用するなどして、読書量の差を縮める。
- 今年度の図書購入の際、児童の意見を取り入れ、学級文庫の本にもする。
- （取組内容①の指標「心の天気の記入」を、「学びのポータルの活用」に変える。）

